

## 当院における在宅半固形栄養管栄養法指導管理料算定への関わりについて

松阪中央総合病院 NST

○城貴子<sup>1)</sup> 上田愛<sup>1)</sup> 鈴木浩美<sup>2)</sup> 近田紀子<sup>3)</sup> 沖見晃子<sup>4)</sup> 若山紘子<sup>4)</sup> 加藤憲治<sup>5)</sup> 岡知充<sup>6)</sup>

<sup>1)</sup>薬剤部 <sup>2)</sup>看護部 <sup>3)</sup>リハビリテーション科 <sup>4)</sup>栄養科 <sup>5)</sup>外科 <sup>6)</sup>シルバーハウス松阪

当院は地域がん診療連携拠点病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・急性期病院として開院 60 周年の 2021 年に病床数 440 床に加え、救急病棟 20 床 ICU6 床を含む新棟を増設し 2024 年 10 月より第三次救急医療施設指定を受け、新体制が開始。

栄養サポートチーム（以下 NST）加算については 2011 年度より算定を開始。加算件数約 1400-1600 件/年となっています。活動を継続していく上で、多職種と必要に応じて連携している。近年では心臓血管外科周術期での全症例介入、可能な限り早期の口腔ケア、術後早期の栄養、リハビリにおけるカンファレンスや、2018 年 11 月在宅半固形栄養管栄養法指導管理料算定開始にあたり胃瘻造設後の「ラコール NF 配合経腸用半固形剤<sup>®</sup>」導入時に全症例 NST 介入を開始後、2020 年より日本臨床栄養代謝学会の REDcap プロジェクト[在宅半固形栄養管栄養法指導管理料の算定に関する EDC を用いた症例登録型データベース(レジストリ)の構築]への、参加にあたり経口摂取の回復に向けた指導管理で歯科衛生士、施設職員等も含め情報共有を深めている。歯科衛生士は松阪地区歯科医師会口腔ケアステーションに所属し退院前からの介入にとどまらず、可能な限り退院後も継続して訪問歯科診療にも関与。今回、「ラコール NF 配合経腸用半固形剤<sup>®</sup>」注入方法の指導後、プロジェクトへの参加症例について当院における初回算定から最長 24 ヶ月間の調査結果と、退院先の施設や歯科衛生士との連携、取り組みについて報告する。